とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和8年1月29日(木)
クラス名(年齢)	ばら組(5歳児)
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

影で遊ぼう！その２

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・壁に向かって友達と影を映して遊んだり、カップにペンで模様を描いて床に置き「太陽が当たって色の影ができてる」「クリスマスに作ったステンドグラスみたい」など日常でも影につながる遊びや会話があった。

2、活動スケジュール

・自分たちで影を映してみたいものを保育室の中から選んで持ってきてグループごとに映す。

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

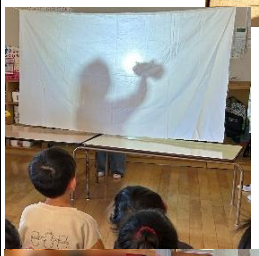
・白い布、ライトの用意をする。
・白い布やライトは子ども達が座って見えるよう高さや距離を調整する。

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・前回行った内容を子ども達と振り返り、今回は自分が映して見たいものを持ってくる。
・グループごとに自分が持ってきたものを映して影を見せ合う。
・見ている人、映した人、それぞれが思ったことを話したり、何の影か推理をし、わかると喜ぶなどして興味を広げる。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
活動の以前のある日 ・陽にあてると影ができるのを発見して「見て！これ何に見える？」と友達と話したり、カップの色ごと影ができることに気づいて友達と並べていた。 **活動当日** ・「これ持って来たからみんな当てて！」「わかった！おままごとのおもちゃ！」「いや、ブロックじゃない？」など、影を見ながら答えていた。 ・「それはちがう～」「こっち向きにしてみる」など話しながら、布の後ろで持っている物の角度を変えて影の映り方が変わることや、友達の答えを聞いて楽しんでいた。 ・最後に「おもちゃじゃなくて人でもわかる！」と話になり、３人並んでクイズに挑戦した。「右は髪の毛長いから○○ちゃん！」「左は後ろで結んでるから○○ちゃん」など友達の影も楽しみながら当てていた。	 

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・今年度、室内戸外ともに影で遊ぶ活動を行うことが多く、その度に子ども達は「前はこうだったね」と前回のことを振り返りながら当日の活動も楽しみ、継続し発展する活動の楽しさを改めて感じた。影で映したいものの中には「これよく見つけたね」と思うものもあり子どもの発想に感心した。持ってきたものの形がそのまま映る角度にはせず、見ていて難しい向きの影を自分で考え映している子どもも数人いて、みんなで影の面白さを共有できた。